

# 2009 秋桜会 だより

湘南歯科衛生士専門学校同窓会(秋桜会)

## ご挨拶

学校法人 清水学園  
理事長 清水 裕



湘南歯科衛生士専門学校の同窓会員の皆様には、日頃より学校運営について多大のご理解と協力をいただき、心より感謝申し上げます。今回の会報発行は、会員の皆様の情報交換をより密接にし、歯科衛生士業務に携わる方々にとって、大変有意義なものであると思います。発行にあたり、学園を代表し一言ご挨拶申し上げます。

湘南歯科衛生士専門学校は、1980年（昭和55年）に創立され、約30年の歴史を重ねてまいりました。その間、歯科医療業界に有為な人材を送り出した、という学校の目的意義のもと、多くの歯科衛生士の教育を続けてまいりました。

しかし、歯科医療界にとって歯科衛生士の役割の重要性は、周知のところであり、また年々その意義は増していけるといえます。そのような状況を鑑み、本校ではここ数年、教育内容の見直しとともに、学生募集活動の更なる充実を図ってまいりました。特に、歯科衛生士という職業の啓蒙活動には、かなりの時間と労力を使ってまいりました。というのも、バブルの崩壊後のゆるやかな景気回復は、企業の雇用の間口を広げ、学生の就職に対する危機感をなくしてしまいました。その結果、将来を見渡した現実的な職業選択をしない学生が増えてしまい、とりあえず大学進学という傾向にあります。しかし、歯科医療界での歯科衛生士の需要は年々増すばかりであり、また、その職域も広がりつつあります。このような需要と供給のギャップは、わが国の歯科医療にとって大きな問題であり、将来の医療行政にも影を落とすことになると予測されます。その状況下で、行政も業界団体も、様々な問題を抱えながら現実的な対処をされていないのが現状です。

今は、少子化や大学全入時代などの社会状況の変化により、歯科衛生士を目指す高校生が減少傾向にあります。しかし、歯科医療界での歯科衛生士の需要は年々増すばかりであり、また、その職域も広がりつつあります。このような需要と供給のギャップは、わが国の歯科医療にとって大きな問題であり、将来の医療行政にも影を落とすことになると予測されます。その状況下で、行政も業界団体も、様々な問題を抱えながら現実的な対処をされていないのが現状です。

その意味で同窓会の活性化は、会員のみならず、学校にとっても、ひいては歯科衛生士会や歯科医療界にとっても、大変意義深いものと考えます。今後、学校も微力ながら同窓会の活性化に尽力してまいります。会員の皆様のご理解と協力を切にお願いをするとともに、今後の湘南歯科衛生士専門学校同窓会のますますのご発展を祈念しております。

## ご挨拶



湘南歯科衛生士専門学校  
校長 根岸達郎

湘南歯科衛生士専門学校同窓会の皆さん、こんにちは。

校長に就任して、はや3年が

科保健・医療・福祉の需要を反映して、皆さんのが2年制では時間がなかったために勉強できなかつた、高齢者歯科学や障害者歯科学さらには摂食嚥下機能学等の科目が新たに加わりました。また、主要3科と臨床・臨地実習が大幅に増えたのが特徴です。その他は、2年制の時とあまり変わりはありません。3年制になればホームヘルパー等の他の資格がどれのではという話も初めはありました。しかし、3年制でもどれの資格は歯科衛生士のみです。

今年の入学生（第30期生）は、2年制最期の入学生という特殊事情もあったと思いますが、入学61名の内、既卒者が約6割になり、現役を大幅に上まわっています。これまでも既卒者の割合は徐々に増加はしてきていましたが、それでも4割止まりでした。

来年は3年制の第1回目の学生が入学してきます。来年は今年のように既卒者の入学は多くないと思います。今は全国的に、歯科衛生士を目指す高校生が少なくなっています。その理由はいろいろあると思いますが、今の高校生は歯科衛生士という職種をあまり知りません。歯科衛生士は今大変不足していること、そして、歯科衛生士の仕事は、やってみれば結構楽しい、やりがいのある魅力的な仕事だということを知らないのではないかと思います。皆さんも是非このことを若い人に知らせてもらいたいと思います。

本校もいよいよ来年から3年制に移行します。歯科衛生士教育に3年制が必要かという議論もありますが、法律が改正されたので従うしかありません。3年制のカリキュラムでは、高齢社会の歯

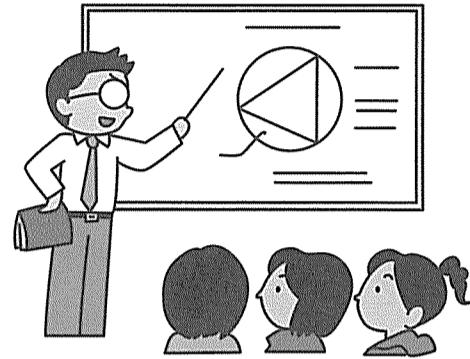
生が減っているということで、学校の将来を考えると寂しい限りです。しかし、既卒者の割合が多いクラスは皆さんのが在籍していた時のクラスと大きく違った雰囲気があるようにみえます。既卒者は

生が増えてしまい、とりあえず大学進学という傾向が、歯科衛生士をはじめ多様な専門職を知るという機会を高校生から奪ってしまったのです。

同窓会という組織は、じ自分が卒業した学校が現在どうなっているのか、あるいはその頃の同級生はどうしているのか、という回顧的な情報提供が一般的です。しかし、専門学校という特殊性を考えると、現在の歯科医療についての最新情報など、専門職としての情報提供の可能性もあると思つております。

## 教育の現場において

教務主任 富本かおる



卒業生の皆様お変わりなくお過ごしでしょうか、前主任五十嵐先生の退職により、わたくしも主任を受け暗中模索という状況の中で1年が経過致しました。

今、母校は・歯科衛生士学校養成所指定規則の改正により、平成22年には、3年制に移行するになります。修業年限の延長とともに教育内容も改正され、「時間数」から「単位数」となり、カリキュラムの表現として「科目」から「教育内容」となり「〇〇学」が「△分野」と変化しています。改正前の修得時間数1965時間(63単位)、新しい教育内容では93単位と30単位多くなります。教育年限延長に伴い、移行の準備に追われております。

高齢者社会に対応できる「介護技術」「摂食嚥下、口腔ケア」などの科目を充実し、他職種と協働できる、広い視野を持った歯科衛生士を育てることが目標です。

教員は、「学習指導案」や「授業計画」を作成して授業に臨み、常に改善に努めています。実習室も新たに改装し、実習内容の充実も図られ、高いレベルの技術を身につけることも目標とします。

専門学校の教員の使命は、資格を取得させることはもちろんですが、「仕事のやりがい仕事の楽しさ」を伝えることも大切だと思います。高齢化が加速する社会において「健やかに老いる」には、不可缺少な職業だと思います。近年、入学応募者数の減少と厳しい状況の中、卒業生の皆様からもアドバイスをいただけました幸いです。

前教務主任 五十嵐じづ江

## 出会い

同窓会会長 久慈真季

同窓会の機関誌発行に寄せて在職した二十数年間を振り返ってみましたが、開校二年目に教務職に就きましたが二年の担任を任され初日はとても緊張しながら教壇に立ちました。

その時前任の先生方は一年で辞められた前年の様子を伺うことも出来ず、仕事上の引継ぎも一切なく全くのゼロからの出発でした。

初めての教務経験は暗中模索状態でしたが当時三人の教務で力を合わせての最初の一年でした。クラスも徐々に強い絆で結ばれ、国試も皆必死の思いで取り組み「全員合格」を勝ち取り喜び合いました。途中二人目の子供の出産で退職しましたが再び七期生の担任として復帰しましたがこの時は学生数も増員され一クラス百十名近い人数で狭い教室は机と机の間は人一人が通るのがギリギリという状態で授業中は席が後方の人は「黒板が見えない」とオペラグラスを使ってノートを取りました。そんな中でも教室内はいつでも若いエネルギーに満ちあふれ学生生活を楽しんでいました。教務の中でも初代の運営理事長、重子副校長両先生は「協調性」をとても大切にされていました。衛生士教育に全ての情熱をかけられた宮入校長、衛生士のバイオニア的な存在でもあったビーチ苔子両先生方の元に皆一丸になって教育に取り組みました。その後担任を離れました。毎年「歯科衛生士」を志す学生さんを迎える毎に、それはまるで親鳥がひな鳥を巣から羽ばたかせる様な思いであります。飛立った卒業生が大きく羽ばたいて活躍している様子や、子育てをしているほほえましい近況等を同窓会を通して伺うことができました。同窓会の皆さんこれからも同窓会を通してたくさんのお情報を発信して下さい。

一期生が大変な苦労をして誕生させた同窓会がその後代々受け継いだ役員の地道な努力と会員の協力の元に継承され現在に至った緯を傍で見守ってきた一人の者として感慨深いものがあります。今後ますますの発展を願っています。

### 追記

昨年学校を退職しました。卒業生の皆さんどうもありがとうございました。

卒業生のみなさん、お元気ですか? あらゆる現場でご活躍の事と思います。

今私の勤務している診療所には我が母校の実習生、私達の後輩が実習に来ているのですが、日々頑張って実習に取り組む姿を見ています。当時とはカリキュラムも変わり、実習時間も増えました。また、来年度からは三年制になり大幅にカリキュラムの変更がなされることでしょう。みなさんの中にはずっと歯科衛生士を続けていたり、残念ながら歯科衛生士の職から離れてしまった人、結婚・出産などで休職している人とさまざまだと思います。そこでいただき我が母校の近況を知つていただければと思います。

歯科衛生士という職業は一般診療にとどまりらず、高齢者施設(在宅)の口腔ケアが年々増加しています。私も数年前まで老人施設の口腔ケアに行っていましたが、そこに入所されている方々は『口から食べる欲』を失っているばかりでした。ヘルパーの方々が声をかけながらの食事もなかなか口を開けることができず、もちろん表情もありません。2週に一回ではあります。しかし、口腔ケアを行うことによって緊張した口の周りの筋肉がほぐれ、表情に変化が表れたときほどのほどの表情が表れます。患者さんからの『ありがとうございます』の一言は何物にも変え難いものがありますよね! みなさんはどういった経験があるのではないかでしょうか?

さて、今まで名簿の中の数ページでご報告させていただいていたのですが、個人情報が悪用されるケースが目立ち、前回発刊分をもちまして名簿は廃止とさせていただきました。今年度の発行からまさに『会報』と呼ぶにふさわしい形になりました。4年に一度の発行を予定しておりますが、みなさんのご意見も取り入れつつ今後の会報発行に役立てたいと思っておりますので、ご意見ご要望是非お寄せいただきたいと思います。

またこの場をお借りして会報発行にご協力いただきました清水理事長、根岸校長、教務の先生方に深く御礼申し上げます。

卒業してから学校へ行った事がある…と言つ人が何人いるだろうか?

歯科衛生士が三年制に引き上げられ、我が校も来年度から三年制に移行する。おまけに実習室もリニューアルされたと聞き、これはリポートしなければと言う事で行つてきました。

現在一年生61名、二年生38名とかなり小規模。そのせいか、以前の図書室がロッカールームとなり、ぎゅうぎゅうになっていた昔が夢のようだ。

まずは、一年生の教室へ。

おもしろ『歯牙解剖』の真っ最中。懐かしい内容に耳を傾けながら思つたのは、風通しの良さ。

7列9人で並ぶ机と机の間は1m弱。風が涼しげに吹いていたのは言うまでもない。

また、生徒の首には名札がかかり講師との親密度も感じられる。

顔ぶれはと言つと年齢幅があり、聞くと助手歴を経た人や大卒も少なくないとか…。少人数のせいいか、講師の目も行き届き活気のある授業に見えた。

二年生はと語ると器具スケッチ実習中。

ひょいと教科書を見ると、カラーでわかりやすい写真が載つていてビックリ。

羨ましいと思いながら、4階へ移動。そして実習室へ入つた瞬間目を見張つた!! 綺麗に並べられたユニットは18台。全て外向きに配置され、両隣に配慮した配置になつていて。

中央には作業台があり、全体的に使いやすそうだ。

レントゲン室まで完備してありオートクレーブも4台と、ちょっとした診療所を想像させた。

また壁際には実習箱置き場があり、器具バットは1つ1つパックして保管してあるという徹底振り。改めて羨ましいと感じたのは言つまでない。

最後に根岸校長と話をすると機会があり、衛生士の人気低下や生徒の学力低下などにより我が校の国試合格率が全国平均以

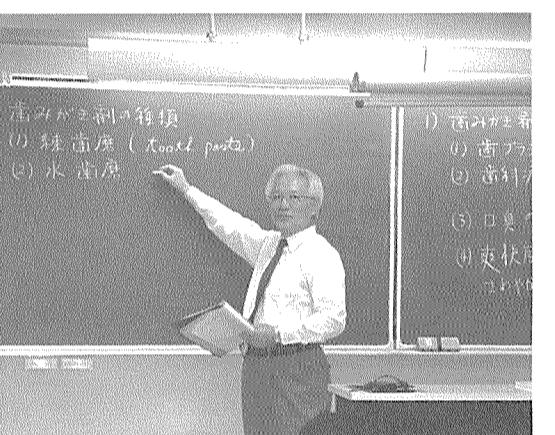
下になっている苦しい現状を話していただい

た。

これは私達に関係ないとは言い切れないのではないだろうか。

私は私達に

話していただい



職種を世間に広める事。そして、その重要性を示す事。そんな単純で大事な事を忘れていた自分を見つけ出した一日だった。

皆さんも一度学校に遊びに来ませんか?

そして、自分の原点を見つめ直すのも良いかもしませんよ。

衛生士といふ職種を世間に広める事。そして、その重要性を示す事。そんな単純で大事な事を忘れていた自分を見つけ出した一日だった。

### 各教務より

#### 佐々木先生

卒業生の皆様お元気でしようか

学校は今年度第30期生を迎え、22年度からの3年制移行の準備のためとても忙しい日々を送っています。新しくなった学校にぜひいらして下さい。

卒業生の皆様、お元気ですか。

時々、卒業生の近況やご活躍を聞き嬉しい思っています。

今後もますますのご活躍をお祈りいたします。

同窓会員の皆様、お元気でご活躍の事と思います。

学校にも是非遊びにいらしてください

ます。

現在、母校で教員として頑張っています。

4月から勤務しております。

宜しくお願い致します。

よろしくお願ひ致します。

石原先生

現在、私は歯科医師になるために北海道の大学に通っています。

これまで15年間に衛生士人生の中で、なによりアメリカ・カナダへの研修は大変刺激的でした。

歯科医師になりたいと思つたきっかけの一つです。

2つ目は、患者さんです。

患者さんにより良い診療を提供したいという気持ちで仕事をしているうちに、衛生士の資格範囲では『患者さんど私が望む診療』を行うことが難しくなってきました。

幸いに、私は患者さんにも恵まれ、患者さんに衛生士としてのみならず、人間的にも成長させて頂きました。

そんな患者さんに歯科医師になり、お礼が出来るようになれば幸いなことだと思っています。

大学生は初めての一人暮らしに加え、年齢差のある友人を作れるかと不安でしたが、持ち前の明るさと衛生士時代に培つた巧みな!トーケで、見事18歳~40歳と幅広い友人を得ることが出来ました。

大学生活は初めての一人暮らしに加え、年齢差のある友人を作れるかと不安でしたが、持ち前の明るさと衛生士時代に培つた巧みな!トーケで、見事18歳~40歳と幅広い友人を得ることが出来ました。

また、多くの人に心配して頂いたのが『北海道の夏は良いけど、住むとなると冬がね…』と言われましたが、私が生活する町は札幌から汽車で50分の所で、除雪や防寒が整つており、不自由なく生活しています。

幸いなことに、これまで成績も優秀で再試などなく過ぎてしましましたので、2月中旬には春休みを迎えるました。そういった事もあり、一番厳しい寒さに直面していよいのかかもしれません。しかし、暖冬なのでしょう。3月末に北海道に戻った時には、雪はすっかり溶け黒い地面、そして緑が顔を出していました。

こんな人生に疑問を感じる方、共感して頂ける方、様々でしょう。私は私の人生を最高だと感じています。現実から目を反らさず、女性だから、家庭があるから、子供がいるから、『行動に移すのは難しい』と考えるのではなく、今ある現状だからこそ、出来ることが必ずあるはずです。人生をEnjoyして下さい。

青い空と真っ白な雲、そして緑の木々に包まれた北海道の短い夏を楽しみながら…。

今回はこのような機会を与えて頂き、ありがとうございました。

## 「37歳の大学生」

11期 佐々木 貴弓

### 湘南歯科衛生士専門学校 同窓会会則

#### 第一章 総 則

本会は、湘南歯科衛生士専門学校同窓会と称する。

本会は、湘南歯科衛生士専門学校卒業生をもつて組織し、卒業と共に会員となる義務を有する。

本会は、事務局を湘南歯科衛生士専門学校内におく。

本会は、会員相互の交誼を厚くし、相助けて基業を行う。

本会は、第四条の目的を達成するために次の事業を行う。

1、研修会

2、その他必要な事業及び集会会議及びその他刊行物の発行

3、会誌及びその他の発行物の発行

4、その他必要な事業及び集会会議及びその他刊行物の発行

5、会員の権利の保護

6、会員の義務の履行

7、会員の退会

8、会員の権利の行使

9、会員の義務の履行

10、会員の権利の行使

11、会員の権利の行使

12、会員の権利の行使

13、会員の権利の行使

14、会員の権利の行使

15、会員の権利の行使

16、会員の権利の行使

17、会員の権利の行使

18、会員の権利の行使

19、会員の権利の行使

20、会員の権利の行使

21、会員の権利の行使

22、会員の権利の行使

23、会員の権利の行使

24、会員の権利の行使

25、会員の権利の行使

26、会員の権利の行使

27、会員の権利の行使

28、会員の権利の行使

29、会員の権利の行使

30、会員の権利の行使

31、会員の権利の行使

32、会員の権利の行使

33、会員の権利の行使

34、会員の権利の行使

35、会員の権利の行使

36、会員の権利の行使

37、会員の権利の行使

38、会員の権利の行使

39、会員の権利の行使

40、会員の権利の行使

41、会員の権利の行使

42、会員の権利の行使

43、会員の権利の行使

44、会員の権利の行使

45、会員の権利の行使

46、会員の権利の行使

47、会員の権利の行使

48、会員の権利の行使

